

令和5年4月28日

二宮町教育委員会議録

(定例会・臨時会)

二宮町教育委員会

- 1 開会時間 9時30分
- 2 閉会時間 11時21分
- 3 教育長名 森 英夫
- 4 署名委員 野谷 悦
- 5 教育長及び委員

出欠席	職名	氏名
○	教育長	森 英夫
○	教育委員 教育長職務代理者	岡野 敏彦
○	教育委員	藤原 直彦
×	教育委員	杉本 かおり
○	教育委員	野谷 悦

- 6 出席者氏名
- | | |
|--------------|-------|
| 教育部長 | 椎野 文彦 |
| 教育総務課長 | 田嶋 卓司 |
| 教育指導担当課長 | 倉重 成歩 |
| 生涯学習課長 | 山下 昌志 |
| 教育総務課課長代理 | 高谷 松慶 |
| 教育総務課指導班長 | 安藤 通晃 |
| 教育総務課教育総務班長 | 高橋 梓 |
| 教育総務課教育総務班主査 | 添田 理代 |
- 7 傍聴者 0名
- 8 調製者 教育総務課教育総務班主査 添田 理代

1 開会宣言

(教育長) 令和5年度4月定例教育委員会議を開催します。

2 署名委員の氏名

野谷委員を指名する。

3 教育長事務報告

(教育長) 教育長事務報告を資料に基づいて行う。

(教育部長) 4月政策会議結果報告を資料に基づいて行う。

(各課長・指導主事) 各課の事務報告・事業予定・研修内容について資料に基づいて説明する。

(藤原委員) オーガニック給食について、関係団体と連携しながらやっていくと思いますが、情報発信などはどのようなことを考えていますか。

(教育部長) 議会では今後取り組んでいくことを報告しました。児童生徒保護者には、7月に実施する予定でいますので、その前に取り組み内容をお知らせしようと考えています。

(教育総務課長) 試行の段階であるため、メニューと一緒にオーガニック給食だと紹介していくことを想定しています。また、オーガニックだけでなく、無農薬野菜などを取り入れた給食も検討していますので、合わせて周知していければと考えています。

(藤原委員) 給食費の価格に繋がっていることを保護者にも分かってもらうためにも、どんなことを考えているのかの発信をお願いします。

二宮町は英語教育に力を入れています。英語教育担当者会の中ではどのような議論されているのか、新しい取り組み内容を考えているのか、などを教えてください。

(藤原委員) 全国学力・学習状況調査については、いつ頃結果が出るのかなどのスケジュールを教えてください。

(教育総務課長代理) 英語教育担当者会は、小中学校の英語担当の教員が集まり、取り組み内容をお互いに把握し、各学校でどう進めていくのかを話し合っています。お互いの授業を見たり、講師を招き、今後の英語教育推進を図っています。また、ALTの先生を活用することで、ネイティブな英語に触れて、子ども達が実践的な英語を使い、会話を進めていきます。海外の文化に触れることになり、国際理解にも繋がります。

(教育長) 昨年度は、台湾の学校とオンラインで繋がりましたが、今年度の予定はどうなっていますか。

(教育総務課長代理) 学校からも高評価な取り組みなので、今年度も是非とも取り組みたいため、委託業者と海外の学校とで調整をしているところです。

(教育長) 現地の学校との交流もいいのですが、日本人学校との交流も検討していただければと思います。

(教育総務課長代理) 全国学力・学習状況調査については、8月下旬に結果が届きます

ので、秋頃に公表する予定です。

(指導班長) 公表までの間に結果の分析等をし、次回に繋げる資料として活用していく予定です。

(野谷委員) 点数に注目しがちですが、生活習慣や学習環境等に関する調査結果にあるように、自ら学習しようとすることに関連する項目の方が大事です。

(教育長) 令和5年度教育委員会基本方針で、KGI(重要目標達成指標)として、『将来に夢や目標を持っている児童生徒(肯定的な回答の割合)【全国学力・学習状況調査】』を設定し、学習面だけでなく、活用していこうと考えています。

(藤原委員) 小中一貫教育校がはじまりましたので、カリキュラムを教科ごとに9年間で取り組んでいくことになります。英語は分かりやすいと思いますので、進めていただければと思います。

全国学力・学習状況調査は、報告を出し教育基本方針のKGIとKPIにその結果を織り込んでいます。二宮の教育を経営しているという立場で見ると、その数字で評価をされていることになります。どうしてそうなっているのか、数字をどうやったら上げていったらいいのかを考えて取り組み、その結果、数値がより改善していくようなことをこの場で考えていければと思います。

にのみや学園通信の中で、開校式で1,800人とオンラインで繋がりました、とありましたが、事務方も含めて、大変だったのではないかと思います。単純にインターネットで繋がればいいのではなく、全員が同じ時間に同時にアクセスしても大丈夫にしなければならない、全員が見えるようにするなど、しっかりと準備をいただいたので、このような結果に繋がりました。

二宮西中学校の生徒会長が『中学生が小学生に背中を憧れになるようにしよう』と言った言葉が、とても良かったと思いました。中学生が自分たち中学生に向けて言ったことはもちろんですが、親たちにも向けて言われている気がしました。大人が中学生に背中を見せない限り、中学生が小学生に背中を見せるようにはなりません。中学生が小学生にそのようなことを言っているのだから、保護者はそういうふう子どもたちが思っていることを理解できるようにって欲しいと思いました。非常に良かったので積極的にアピールしていただきたいと思います。

にのみや学園通信の上に施設分離型小中一貫校とありますが、施設分離型というのは、強調しなければならない文言なのでしょうか。

(指導班長) 必要ないかもしれませんが、保護者にそのままであることを踏まえて説明をしています。その説明をする上で、この文言が今はあってもいいと思い、つけている状況です。

(野谷委員) 議会だよりを見ると、施設分離型では限界があるという内容でした。最終的に目指す姿ではないことを明らかにするには、今後は変えていく必要はあると思います。

(岡野委員) 開校式のオンラインについて、学校に行けていない子はオンラインで参加し

たのでしょうか。

(指導班長) タブレット端末は渡してあるので、見ることはできる状況でした。実際に見てくれたかは確認できていません。また、YouTube でいつでも見るができるように整えました。

(岡野委員) にのみや学園がスタートしましたが、今後は学校行事の連携、小小、小中の行事をどうしていくのか、といった課題もあります。まずは、来年度の学校行事を決めるために先生方の連携はどうなっているのでしょうか。

(指導班長) 今回であれば、一色小学校の修学旅行の行程に鎌倉が入っていますが、中学校の校外学習で鎌倉に行くため、重複している課題があります。9年間を通して、にのみや学園として、行事をどう考えるのかは大切な視点になりますので、教務担当者会や校長会などでにのみや学園として考えていく視点を大切にしてほしい、と伝えていく必要があると考えています。

(教育長) 学園長には、始業式や終業式などの行事はオンラインで一斉にやろうと依頼をしています。小中学校の行事のすり合わせは、教務担当者会でやることになります。今年は2学期の開始が小学校と中学校でずれていたもので、揃えたところですが。修学旅行は、コロナ禍で行き先を変更した経緯があり、学校内でも単発で終了してはいけなく、学園としてずれてしまっはいけなく、といった意見もあります。少しずつですが、揃えていき、学園として一枚岩になれるようにしていきたいと考えています。

(岡野委員) 中学校の体育祭や文化祭はほぼ同じ日に開催しているので、お互いに何をしているのか、ほとんど知らない状態です。オンラインで中継するなど、横の繋がりに工夫のしどころがあるのではないかと感じました。文化祭であれば、ステンドグラスを両校取り入れているので、刺激になるのではないかと思います。また、ステンドグラスではないアイデアを取り入れていく時期に来ていると思います。新しいことをやる、伝統を守る、両方大事なことではありますが、変化のタイミングに来ているのではないかと思います。

自転車のヘルメットに関連して、二宮中学校は自転車通学ができますが、二宮西中学校はできません。その違いを解消することはあるのでしょうか。

(教育総務課長) 道路交通法が改正されたことに伴い、町の総務課が職員向けに出したものにります。児童生徒に向けては、まだできていません。二宮西中学校も昔は自転車通学をしていましたが、大きな事故があり、今はできません。二宮西中学校の通学路は坂道が多く、スピードが出やすく危険だということが大きいです。事故の発生の有無に関わらず、今も変わりはありません。

(岡野委員) スピードが出るから駄目だというのは、事故を起こすから自動車に乗るのは駄目ということと同じに感じます。

(藤原委員) スケジュールについては、前回の教育委員会議でも出ましたが、今年度は分離型小中一貫教育が始まるため、昨年度の継続課題をやりながらスケジュールを決めていたので、間に合わなかつたと説明を受けました。それを踏まえて、来年度のスケジュール

を決めるタイミングを教えていただければと思います。我々もスケジュールを意識して、議論をして、間に合わないということを避けるべきだと思います。

(野谷委員) 教務担当者会では、日程のすり合わせはできますが、行事そのものになると難しいと思います。校長会などで、夏休み前ぐらいまでに決めて、各学校に方針を理解してもらうようにしないと、来年度も同じようになるかと思います。

(岡野委員) 全国学力・学習状況調査について、将来の夢や目標を持っているかの設問はとても大事なポイントだと思います。中学生の肯定回答率が60%台で、日本財団による18歳意識調査でも日本は60%です。海外の中国、アメリカ、ドイツは90%を超えていて、30%も差が出てます。他県、全国平均、神奈川平均と比べて議論することも大事ですが、将来子どもたちが出ていくフィールドで比べるべきではないかと感じます。今後検討をお願いします。

(藤原委員) 親世代も海外と離れているのに、子どもに海外と30%も差があることを話しても、国民性にも繋がるので難しいのではないのでしょうか。

(岡野委員) 根底の意識を変えていくきっかけにはなるかと思います。

(藤原委員) ポジティブに考える人はきっかけになりますが、ネガティブに考える人もいるので、どのように出すのかも含めて、議論をし、出していないとミスリーディングを生む気がします。60%が65%を目指すことは大事なことで、それが評価されれば海外のようになろう、というポジティブな議論に繋がるかと思います。

4 付議事項

(1) 議案第1号 教育支援委員会委員の委嘱について

(教育指導担当課長) 教育支援委員会委員の委嘱について資料に基づいて説明

(野谷委員) 『19. その他教育委員会が必要と認める者』とは、どのような方ですか。

(指導班長) 二宮町で心理教育相談員として雇用している方になります。幼稚園などで園児を見たり、発達検査等をしていただいていますので、専門的な知見から参加をお願いします。

(教育長) 中郡医師会選出の医師に変更はありませんが、先生方の了承は得ているのでしょうか。

(教育指導担当課長) 医師会から推薦をいただいていますので、了承は得ています。

(教育長) 委員に議案第1号について諮る。

委員全員賛成により、議案第1号は承認される。

(2) 議案第2号 教科用図書採択検討委員会委員の委嘱について

- 非公開 -

5 報告・協議事項

(1) 休館中の町民温水プールの状況について

(生涯学習課長) 休館中の町民温水プールの状況について資料に基づいて説明。

(野谷委員) 温水プールは、必要無いという方、必要だという方がいる中で、現地を見学し、実感を伴った理解が必要かと思います。

(藤原委員) 修繕の予算内に収まるのであれば、継続する余地もあるかと思いますが、数千万円も修繕がかかる中で、続ける理由を見つけられません。利用したい方がいる中で、どのようなプロセスを経て、早く決められるかが問われていると思います。

(教育長) 現地見学は、危険があり立ち入ることは難しいです。事故があってからでは遅いので、安全第一を最優先に考えていきたいと思います。

(生涯学習課長) 休止をしてから、2か月が経とうとしていますので、町民の方からも再開の目処の問い合わせがあります。現状と今後の方向性を議会に報告しましたので、ホームページで公開する予定です。

(岡野委員) 今後はどのような流れで判断していくのでしょうか。

(教育部長) 社会教育委員会議で、報告と今後の方向性を説明し、その結果を教育委員会議で取り上げます。

(2) 二宮町児童生徒就学援助費交付要綱の一部を改正する要綱について

(教育総務班長) 二宮町児童生徒就学援助費交付要綱の一部を改正する要綱について資料に基づいて説明。

(3) にのみや学園制服のあり方検討会設置要綱の一部を改正する要綱について

(教育総務班長) にのみや学園制服のあり方検討会設置要綱の一部を改正する要綱について資料に基づいて説明。

(4) 二宮町給食費取扱い要綱の全部を改正する要綱について

(教育総務班長) 二宮町給食費取扱い要綱の全部を改正する要綱について資料に基づいて説明。

(野谷委員) どこが変わったのでしょうか。

(教育総務課長) 長い間改正をしていなかったため、分かりづらい言葉の修正などをし、皆が共通認識を持てるよう改正しました。

(5) 二宮町学校給食食材費高騰対応補助金交付要綱について

(総務班長) 二宮町学校給食食材費高騰対応補助金交付要綱について資料に基づいて説明。

(6) その他

(藤原委員) 校則は、両中学校とも生徒会が変えるか決めればできるのではないかと思います。生徒たちが自主的にやった方が良くと思うので、どういうふうに仕向けていくのかを、学校としてやっていただきたいと思います。生徒会の任期は1年のため、中々やり切れないところもあるかと思います。以前、PTA会長になったときは任期が2年なので、学びながら変えられることを2年かけてやりました。2年任期であれば、色々考えていく中で、生徒自身が校則を変えていけるようになるのではないかと思います。

(指導班長) 新しく出ました生徒指導提要では、校則を決めるにあたっては、生徒が参画のような形で作っていく、と改めて示されたところです。今後、生徒指導担当者会もありますので、情報交換をしながら、よりよい形を考えていきたいと思います。

(岡野委員) タブレット端末の持ち帰りルールは、学校間で統一されているのでしょうか。

(指導班長) 持ち帰りについては、町の統一したルールがあり、保護者にも周知しています。ただ、持ち帰りの頻度になると、学校間で差があります。

(岡野委員) にのみや学園通信は、紙で配布しているのですか。

(指導班長) ホームページに掲載しています。そこでは、感想フォームを設けましたので、誰でも感想を言える形に変えました。その感想をにのみや学園通信で返していき、双方向で意見を交換し、町民と一緒に考えていければと思っています。

(教育部長) 皆が登録しているマチコミメールで配信できないのでしょうか。

(岡野委員) マチコミメールは、校長先生から以前、防犯や安全といった情報に限定したいという意見を聞いたことがあります。雑多な情報発信をすると、大事な情報がスルーされてしまう可能性があるため、マチコミメール=何かあった、という意識を働くためにも限定したい、と言っていましたので、運用については相談した方が良くと思います。

(藤原委員) そういったことも分かった上で、これは少なくともやった方がいいのではないかと考えています。

(岡野委員) 使える手段は全部使って伝えるのが基本だとは思いますが。

(教育長) マチコミメールの活用については、色々な場で話していこうと考えています。

－ 次回教育委員会予定 －

(教育総務班長) 次回教育委員会議の日程及び出席を要する主な行事について説明。

11時21分 閉会